事例No.	1405
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	奈良県桜井市

事例区分	一般行政

タグ	・消防・防災 ・EBPM ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

施業放置林の間伐の実施と森林経営管理法に基づく意向調査

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

奈良県　桜井市（施業放置林の間伐の実施と森林経営管理法に基づく意向調査）

- 桜井市では、木材価格の低下による森林所有者の経営意欲の減退や境界不明山林の増加に伴い、手入れ不足の施業放置林が増えており、山地災害の発生の危険性が高まっている。そこで、市が森林所有者と施業協定を締結し、森林環境譲与税を財源として施業放置林の整備を継続的に行っていく方針。
- 令和元年度は、現在の桜井市の山林の状況を分析し、優先的に意向調査を行っていくべき地区をまとめた計画を作成した。令和２年度においては、以下の取組及び県事業の活用により新たに85ha（対前年137%）の間伐が実施され、森林の有する公益的機能の発揮につながった。
  - 令和2年度に創設した間伐事業により、森林所有者1名と施業協定を締結し、1.2haの間伐を実施した。
  - 市内の私有林人工林203ha、森林所有者143人に意向調査を実施し、今後所有者自身で管理されるであろう森林とそうでない森林を区別し、今後の森林管理についての見通しを立てることができた。
- 令和３年度においては、更に、施業放置林の整備と森林所有者への意向調査を進めていくこととしている。

□ 事業内容

1　施業放置林の整備（桜井市間伐促進事業）

- 県の施業放置林整備事業の対象にならない森林（過去に同事業により整備を実施したことのある森林）であって、整備から10年以上経過している箇所を対象に、間伐を実施。

【事　業　費】464千円（全額譲与税）

【実　　績】間伐1.2ha

（県事業と合わせて85haの施業放置林整備を実施）

2　森林所有者への意向調査（桜井市地域林政アドバイザー業務）

- 令和元年度に作成した森林経営管理基本計画に基づき、優先度の高い地区から意向調査を実施。市内の私有林人工林203ha（502筆、143人）の森林所有者に対し、森林経営管理の意向を調査。

【事　業　費】4,918千円（全額譲与税）

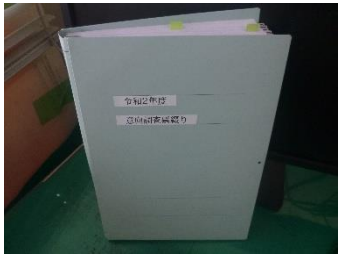
【実　　積】意向調査面積　203ha



（事業１：間伐前）



（事業１：間伐後）



（事業２：意向調査票綴り）

□ 事業スキーム

1　施業放置林の整備（桜井市間伐促進事業）

所有者 → 協　定 → 市 → 委　託 → 森林組合

2　森林所有者への意向調査（桜井市地域林政アドバイザー業務）

市 → 委　託 → 森林組合 → 調　査 → 所有者

□ 工夫・留意した点

- １の事業において、間伐率を40%以上に設定し、強度間伐を行うことで、針広混交林への誘導を図った。
- ２の事業において、過去に測量したことがある等により、森林の位置が特定できる箇所において実施することとした。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	21,142千円
②私有林人工林面積（※１）	4,928ha
③林野率（※２）	60%
④人口（※３）	57,244人
⑤林業就業者数（※３）	44人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より